

# 3ヶ月に一度のこんにちわ

デフメンバーが交代で  
お便りします。

「元気」のこと by やなせけいこ

「元気を出せば何でもできる」・・・3?年思ってきたオマジナイ。「毎日暑いけどお元気ですか?」とか「じゃあ又、お元気で」と相手の息災を想って言うあいさつの言葉になったり、「早く元気になって」「元気をだして」と相手を励ます時にもつかうこの「元気」という言葉。

元々は天地自然の根本となる「気」の意味だそうで、それが人のもつ生命や精気の意味になり、活力や健康の意味になったそうです。

このところ、特に最近では異常に活発な「気」によってたくさんの「元気」が奪われてしまい(加えて、社会的・人為的災害によっても「元気」が奪われてしまったり)励ましの言葉としてつかうことが多いのは、とつても残念で悲しい。

自分の力で取り戻せる「元気」もあるし、誰かの力を借りなければ戻らない「元気」もある。

「元気を出せば何でもできる」このオマジナイをこれからも思って、その力になれるよういつも元気印でありたい、と思う今日この頃。

みなさん。お元気で!



やなせけいこ

## 日々制作...

制作メンバーのコラムです

by 新島英明

結成から31年。私たちの公演活動には、「手話サークル」「子ども・おやこ劇場」の存在が欠かせませんでした。ろう者と聴者で活動している(デフ・パペットも同じ)ことの多い手話サークルの皆さん。社会の中で舞台芸術の持つ役割にも重きをおき、子どもも大人も仲間で舞台を観、仲間で日々の活動をつくっている子ども・おやこ劇場の皆さん。(どちらも私たちの結成以前から、先達たちの努力で日本に生まれ、全国各地に活動が広まっています。)そうした皆さんとの共感、社会の中に存在し続けようとする私たちの源動力であったと思います。そして、障害があることを受け入れつつも暮らしやすい社会をつくっている方々との出会い、人形劇の好きな方々との出会い等、デフ・パペットというグループは一つの町の中でも、その町を構成する様々な方と関わるチャンスがあります。それは、生み出した作品が、興味の方向が実に様々な方同士でも楽しめる可能性を秘めているように。私たちが、これからも共感を得られるような魅力あるグループであり続けられるかどうか、グループに参画している一人一人にかかっています。現状に甘えず、高みをめざしたい、めざせると信じて、町に出掛けていきたいと思ひます。

## お見舞い

このたびの東日本大震災によって亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

私たちも今後、被災地および被災された方々のお力になれるよう、何らかの形で活動して行く所存です。

## ☆☆お礼☆☆

### 「森と夜と世界の果てへの旅」

東京初演(4月8日~10日)無事終了致しました!  
延べ**868人**の方にご覧いただきました。  
ご来場ありがとうございました!

また、この期間にお買い上げいただいたデフ・パペバッジの売上や、世田谷福祉専門学校のお手伝いの方々の寄付などで集まった計**30000**円をNHK厚生文化事業団を通じて東日本大震災義援金に寄付させていただきました。  
ご協力ありがとうございました。

## ★お知らせ★

★デフパペの大型新人、牧野英玄がNHK教育テレビ「ろうを生きる難聴を生きる」に出演しました!この番組のアンコール放送が8月にあります。初演の稽古や公演の様子も放送されます。ぜひご覧下さい!!  
放送予定日:前編8月21日(日)/後編8月28日(日)19:30~19:45

★善岡修が映画に出演しました!今年で10周年を迎える、ろう映画制作グループ「プロディア」が作った「寄りびと」で彷徨い役を演じました。また上映の機会があるといいですね。

★榎本トオルが被災地の気仙沼を訪れました。これは、「稲むら火」の公演つながり、被災地のこどもを支援する神奈川市民の会」と連携して、ひとみ座・デフパペ共に復興支援活動を行うことになったからです。榎本はその会の一員として、ひとみ座の木俣かおりと一緒に人形劇の公演が可能かどうか下見に行きました。現地では子どもたちと手話で交流もできました!

★デフ・パペットシアター・ひとみを企画・運営している現代人形劇センターが公益財団法人に移行しました。それに伴い、理事長が森元勝人より塚田千恵美に替わりしました。これから益々活動を広げて行きたいと思ひます。どうぞ宜しくお願ひ致します。

## 公演スケジュール・お知らせ

(7月15日現在)

### 「森と夜と世界の果てへの旅」

7月20日(水) 品川区 六行会チルドレンズフェスティバル参加  
六行会ホール(開演18:00)  
前売り 大人2500円 高校生以下1500円(当日各300円増し)

9月2日(金) 長野県白馬村 白馬村ウィング21ホール(開演19:00)  
9月4日(日) 山形県寒河江市 寒河江市ハートフルセンター  
(開演 ①11:00 ②14:30)  
10月22日(土) 新潟市 新潟市民プラザ(開演14:30)

### 「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール♪」

8月25日(木) 滋賀県大津市  
大津市民会館 大ホール(開演18:30)  
8月26日(金) 島根県松江市  
松江テルサホール(開演19:00)  
8月28日(日) 島根県雲南市  
チェリヴァホール(開演14:00)  
10月15日(土) 岩手県宮古市  
☆10月20日(木) 群馬県前橋市 共愛学園中学校

追加・変更される場合もありますので、詳しくは  
デフパペ事務所にお問い合わせ下さい。

### 「稲むらの火」

9月25日(日) 墨田区  
10月9日(日) 北九州市小倉区  
北九州芸術劇場大ホール(開演14:00予定)

### 「一寸法師とおたのしみ交流会」

7月28日(木) 子どもと舞台芸術・出会いのフォーラム2011  
国立オリンピック記念青少年総合センター  
人形劇ギャラリーにて 15:30~16:00 参加無料

※29日(金)は体験広場にてワークショップ「お手軽人形で手話&リズム」を10:50~14:00まで4回に分けて行います。ぜひご参加下さい!  
参加有料

8月4日(木) たまプラーザ東急  
8月11日(木) 東急吉祥寺  
☆9月20日(火) 福島県郡山市 福島県立聾学校

☆印は学校公演です。観劇ご希望の方は  
デフパペ事務所にご連絡下さい。

### 「人形劇づくりワークショップ(榎本・牧野・富安 他)」

☆9月7日から11月末まで全10回 横浜市立ろう学校

### 「表現ワークショップ(善岡・榎本・やなせ)」

☆9月より全6回 千葉県鎌ヶ谷市立初富小学校

### 「善岡修ワークショップ」

8月21日(日) 甲府市聴覚障害者協会  
☆9月9日/30日(金) 川崎市立ろう学校  
☆9月16日(金) 品川区立東海中学校

今回のデフパペイズムは、新作『森と夜と世界の果てへの旅』の初演から旅公演までを振り返り、特に観ていただいた方の反応についてメンバーで話してみました。

デフパペの作品には総て初演から参加しているやなせけいこも、今回の作品に関しては幕が開けるまで観客にどのように受け取られるのか、全く予想が付かなかったと言います。では、実際幕が開けてどんな感触を得たかと言うと、「想像以上にしっかり見てくれている」。

この「想像以上」というのは、何せメンバーですら、読んで路頭に迷い、あるいは格闘しながら消化したのが本当のところの、原作「やし酒飲み」が礎となっているからです。奇想天外、支離滅裂、荒唐無稽な話に、お客さまがどれだけ付いてきてくれるのか……、もちろんそれを信じて作品を創り上げてきたのですが、実際本番を迎えるまでは不安でした。それゆえ、この感触は嬉しいものでした。

では実際作品の中味はどのように伝わったのかというと、これは反応が多様多様に分かれます。中でも、特に気になった反応が「子どもには見せないほうがいい」表現があることへのご意見です。今回の芝居の口上でも言っているのですが「なんとも不埒でちよっとエッチ」な場面は、子どもにはふさわしくないとご指摘を受けます。でもね…デフパペメンバーは思います。キャラクターに血肉を与えるため、もっと言えば作品世界を創り上げるために必要な要素で、そう簡単に省くわけには行きません。それに悪いこと、醜いこと、汚いことから隔離しておくことが、子どもにとって良いことかという、そうではないようにも思えます。材料を総て与えて、そこから自分で認識し、考えを組み立てて行くことがあって良いのではないのでしょうか。舞台芸術が観る人の心を豊かにするというのは、美しい夢の世界を見せるだけでなく、「見たくないもの」も含んでこそだと思います。歴代のデフパペ作品を振り返ると……一癖も二癖もあります。人形劇だからこそ、観る方々がドキッとすることも生々しいもの、品が無いものを、さらっとからっと表現できると前向きに考えているからでしょうか。

…さて、ちょっと偉そうなことを言ってしまいました。そうは言っても、実際皆さまのご指摘にもありますように、まだまだこの作品は発展途上。どうぞ皆さま、これからもどんどん何回でも『森と夜と世界の果てへの旅』を観て、デフパペに叱咤激励をいただきますよう、よろしくお願い致します！

メンバー 一同

## デフパペニュース 夏号の目次

### デフパペイズム

新作の初演から旅公演までを振り返りました。

### 3ヶ月に一度のこんにちわ

メンバーのコラム

今回の担当は、やなせけいこです。

### 日々、これ制作……

デフ制作メンバーのコラム

今回の担当は、新島です。

### 公演便り

初旅を終えた新人2人の新鮮なりポートです！

### 感想・お手紙コーナー

### お知らせ

メンバーの様々な活動のお知らせです。

### 公演スケジュール

#### デフ・パペットシアター・ひとみ 友の会 会員募集中！

観劇料の割引や友の会通信などデフパペがより身近になる特典をご用意しています。

詳しくは、デフ・パペットシアター・ひとみ事務所までお問い合わせください。

年会費 : 1500円  
ペア会員 : 2500円



ろう者と聴者が共につくる

デフ・パペットシアター・ひとみ

DEAF PUPPET THEATER HITOMI

〒211-0035 神奈川県川崎市中原区井田3-10-31(公財)現代人形劇センター

TEL : 044-777-2228

FAX : 044-777-3570

e-mail : deaf@puppet.or.jp

URL : http://deaf.puppet.or.jp/



デフ・パペットシアター・ひとみ

皆さん、こんにちは！大型新人の牧野です。いや、今年四月でデフパペに入って二年目になるので、もう新人という肩書きに甘えてはいけませんな。よし、新しい肩書きを考えるか。肩書きの話はさておき、先日約一ヶ月間、九州・四国で14ヶ所の旅公演して来ました。自分が今回の旅公演で思った事を書きたいと思います。

「一回の公演のために、どれだけの人達がどれだけの準備をして本番を迎えたのか。」旅公演をしていて、それを一番感じました。今まで自分は、とにかくお客様達に満足してもらえるようにとしか考えてなかった。公演が出来るのは誰のおかげなのかまで全然考えていませんでした。公演が出来るのが当たり前、とにかく「お客様」だけしか頭になかった。

でも、公演が終わったあと実行委員会の皆様と交流してわかりました。公演が出来たのは地元の実行委員会の頑張りとその実行委員会と打ち合わせのために何度も足を運んだデフパペ制作。公演が出来たのは皆さんのおかげだったのだと、本当にすごく思いました！これからは、お客様だけではなくデフパペ制作、そして、実行委員会、この一回の公演に関わった全ての方々の想いをキチンと受け止めエネルギーに変え素晴らしい舞台にして皆さんに恩返しする！そう決めた、スーパールーキー牧野でした！

4月に新作『森と夜と世界の果てへの旅』でドキドキの初舞台を踏み、5月から約1ヶ月の初旅公演も無事に終了。夢だったのかな？と思うくらいあっという間でした。それだけ、無我夢中だったのだと思います。

私にとって初めての旅は「初めてづくしの旅」、そして「出逢いの旅」でした。トラックの長距離移動、フェリーで宿泊、景色、食べ物、毎回違う公演会場・・・見るもの感じるもの、何もかもが初めてのことばかり！特に、公演先でお世話になった方々との出逢いは、とても刺激的でした。公演後(時に公演前)の交流会では、デフパペットの思い出話を聞かせていただいたり、たわいもない話で盛り上がりたり。出逢うことって素敵だなあ、あったかいなあとか心から感じました。そして、こんなにもたくさんの方々に支えられていることを実感して、感謝と感動の混ざった不思議な感覚になりました。私たちの公演は、役者だけでなく、みんなで創り上げて初めて成功する。それが、デフパペの人形劇の醍醐味でもあるのだと思います。

刺激だらけの毎日で色々な事を感じた旅公演。嬉しかったり、悩んだり、感動したり・・・何か感じられることは本当に幸せなこと。私たちの公演を観て、少しでも何か感じてもらえたら嬉しい・・・そんな思いを心に留めて、これからの出逢いも楽しみにしながら、演じていきたいです。はじめの一歩を踏み出したばかりの私ですが、これからどうぞよろしく願います！

(富安優子)

### 「森と夜と世界の果てへの旅」

【初演東京公演】子供にはむずかしいかな～！/人形劇なのに、手話をうまく取り入れ、効果的な笑い声などを文字でも表示していて非常に楽しめた/浦島太郎を思い出しました/場面を把握できなかった/展開がおもしろかった/道行の繰り返しが多く単調な感じがした

【四国公演】人間の色々な側面をジュジュマンの旅を通して観ることができました(53才女)/分かりにくい所もありましたが、不思議な世界観を楽しめました。字幕が見えにくい所があったのは残念(44才女)/人間への警告のようなものを感じました(31才女)/門番のキャラがおもしろかったです。あの男が死神一族だったからビックリしました(8才男)

【九州・沖縄公演】とても変わったキャラクターだったので、子供も興味津々で、パンフレットもよく見ていました(35才女)/とても不思議な世界に引き込まれました。目を閉じると、楽器の音、振動が身体に伝わってきて、それも一つ今回の魅力だと思いました。面白いポイント、ツボがありました、受け取り方は十人十色!!本当に楽しくちょいエロ♡で、とても面白いものでした。これはアリですネ!!(28才女)/9割ほど分かって、1割疑問があったけれど、今までにない感情でした(13才男)/主人公などのデザインはいいと思った。「はこ/BOXES」に比べると話や効果など少なめでインパクトに欠けた気がする。アフリカという題材だからだろうか。1つ1つのエピソードが分かりにくいものもあったが、斬新に感じた(38才男)/子供たちでも分かる内容だったので、孫も連れてきたらよかったと思いました(58才女)・アフリカの神話の世界はとても不思議で、初めは怖がっている子供たちが次第に泣かなくなり、それぞれ楽しみだしたの事がおもしろいなあと思いました(30才女)

### 「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール」

【常総市公演】娘が(知的障害)、最初の頃のシーンで「友達が欲しいのかな…」とぼつりと言いました。感情をうまく言えない子が、そんな言葉を発したこと、すごく感激しました。言葉がなくても伝わってくる感動がありました(40代女)

☒昨日反省会で、成功に終わって良かったねー！これも、たくさんの方に関わって頂いたお陰と、新島さん(制作)の熱意のお陰だねー！とみんなで話し合いました。(実行委員の方からのお手紙)

【目黒公演(小学校)】児童たちが芝居の世界に惹きこまれて観ていたのが印象的だった。ただ1つ、学校では命の大切さを教えているので、赤ちゃんを投げたり、洗濯機に落ちるシーンが気になった。

【富山市公演】声なしで、物や動き表情で全部表していてすごいなと思いました。最後の方でおばあちゃんがオルゴールで、バラバラになった家族を集めて仲良くしたところが印象的でした(10才女)/人形のデフォルメされた動きが、サイレントな世界の中で際立ってて、みんなの感情を高ぶらせていました。赤紙とか、ローラー式の脱水機とか、つくのが遅いテレビとか、知らない世代がたくさんいるけれど、全てが理解できなくてもよい。とってもよい時間が流れていたと思います。楽しみに待っていた例会。本当によかったです(50才女)

☒「はこ/BOXES」は劇場に入って1番心に残る例会でした。昨年10月の企画総会で決まってから、デフの人たちと少しでも手話で話せたらと、12月に手話サークルに入りました。次に会う時はもう少し手話も上達しているはずなので、善岡さん、榎さんとスムーズにお話できる予定です。(富山子ども劇場の方からのお手紙)